

平成30年度和歌山県学習到達度調査

中学校 第2学年理科 出題のねらいと教科書の範囲

学習内容	出題のねらい	教科書の範囲
生物の観察	観察器具の操作、観察記録の仕方など、生物の調べ方の基礎的な技能を身に付けている。	【啓林館】1年p6～p13 【東 書】1年p12～p17
葉・茎・根のつくりとはたらき	植物の葉、茎、根のつくりの基本的な特徴を、光合成、呼吸、蒸散に関する実験結果と関連付けてとらえることができる。	【啓林館】1年p26～p45 【東 書】1年p29～p50
身の回りの物質とその性質	身近な固体の物質について、その性質を様々な方法で調べ、密度など固有の性質と共通の性質があることを理解している。また、実験器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付けている。	【啓林館】1年p122～p135 【東 書】1年p70～p90
気体の発生と性質	気体を発生させる実験を行い、気体の種類による性質から、気体を判断する方法を説明することができる。	【啓林館】1年p136～p146 【東 書】1年p91～p99
物質の溶解	特定の質量パーセント濃度の水溶液をつくるため、必要な溶質や溶媒の質量を求めることができる。	【啓林館】1年p147～p155 【東 書】1年p100～p113
音の性質	音についての観察、実験を通して、音は物体の振動によって生じ、その振動が空気中などを伝わることを理解するとともに、音の大小や高低を、発音体の振動の振幅と振動数に関連付けてとらえることができる。	【啓林館】1年p196～p204 【東 書】1年p160～p167
地層の重なりと過去の様子	野外観察などの観察記録を基に、地層のでき方を考察し、重なり方や広がり方についての規則性と関連付け、地層を構成する岩石や産出する化石などから過去の環境と地質年代を推定することができる。	【啓林館】1年p84～p105 【東 書】1年p230～p249
物質の分解	電流によって物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質が何であるかをその性質から確かめることができる。	【啓林館】2年p126～p141 【東 書】2年p12～p31
化学変化	物質を分解する実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することと関連付けて、化学変化を原子や分子のモデルで説明することができる。	【啓林館】2年p142～p151 【東 書】2年p38～p43
生物と細胞	すべての生物のからだは細胞できていること、生物は一つの細胞からなるものと多くの細胞からなるものがあることなど、細胞の基本的なつくりについて理解している。	【啓林館】2年p4～p13 【東 書】2年p86～p95
生命を維持するはたらき	動物の消化・吸収、呼吸、血液循環について、必要な物質を取り入れ運搬していることを理解している。また、有害な物質を無害な物質に変えたり、不要となった物質を排出したりする仕組みがあることを理解している。	【啓林館】2年p14～p29 【東 書】2年p96～p113

* 出題範囲には、上記ページの範囲の学習に関する下記の単元末資料等を含みます。

【啓林館】「学習のまとめ」、別冊「マイノート」【東 書】「学習内容の整理」、「確かめと応用」